

日本鉄鋼協会記事

第2回理事会

開催日：6月22日。出席者：的場会長，ほか33名。

1. 編集委員委嘱解嘱の件

1) 委嘱

(1) 新任

根本秀太郎 (日本鋼管株技研)
近藤 嘉一 (東洋鋼鉄(株)綜研)

(2) 再任

阿部 秀夫 (東京大学・工・冶金)
(任期1年)
赤松 泰輔 (新日鉄(株)製品技研)
大井 浩 (川崎製鉄(株)技研)
上正原和典 (三菱製鋼(株)技研)
郡司 好喜 (金材技研)
近藤 真一 (新日鉄(株)基礎研)
佐藤 利雄 (住友金属工業(株)東京技術部)
中村 泰 (新日鉄(株)基礎研)
西田 信直 (" 技開)
萬谷 志郎 (東北大学・工・金属工学)
深瀬 幸重 (日本冶金工業(株)川崎)
渡辺 敏 (金材技研)
吉沢 昭宣 (東京大学・工・冶金)

2) 解嘱

大石 将司 (新日鉄)
周藤 悦郎 (東洋鋼鉄)
斎藤 達雄 (川崎製鉄)
佐々木健二 (")
武内 朋之 (金材技研)

2. 研究委員委嘱の件

井上 道雄 (名古屋大学)
染野 檀 (東京工業大学)
加藤 栄一 (早稲田大学)
津谷 和男 (金属材料技術研究所)
若林 敬一 (新日本製鉄(株))
長島 晋一 (")
板岡 隆 (日本鋼管(株))
大橋 延夫 (川崎製鉄(株))
三好 栄次 (住友金属工業(株))
鈴木 章 ((株)神戸製鋼所)

3. 技術講座小委員会委員委嘱

阪部喜代三 ((株)日本製鋼所)
田中 誠一 (東洋鋼鉄(株))
瀬川 清 (新日鉄・基礎研)
館 充 (東京大学・工・冶金)
根本秀太郎 (日本鋼管・技研)
内山 郁 (金材技研)
中川吉左エ門 (川崎製鉄・技研)
木原 諄二 (東京大学・工・冶金)
小指 軍夫 (日本鋼管・技研)
長島 晋一 (新日鉄・基礎研)

吉谷 豊 (新日鉄・本社計技室)

岸高 寿 (川崎製鉄・技研)

4. 理事常務委員の担当職務追加の件

荒木理事，草川常務委員に編集を追加担当願うことになった。

5. 第4回真空冶金国際会議組織委員会委員推薦の件
案通り承認

6. 日本学術会議，第9期会員選挙候補者推薦の件
候補者 斎藤恒三君(東北大学)，五弓勇雄君(東京大学)を本会として推薦することを決定

7. 第13回(昭和47年度)本多記念賞候補者推薦の件
候補者 佐野幸吉君を推薦することを決定

8. 原子力製鉄共同研究契約書締結報告
案通り承認

9. 特許の管理規程制定
案通り承認

10. 中国四国支部規則変更承認および中国四国支部長
新任報告

新支部長 末光秀雄君(日新製鋼，常務，周南製
鋼所長)に交換した旨報告があつた。

11. 北欧派遣使節団結成報告ならびに第3回日ソシン
ポジウム参加者が決定した旨報告がなされた。

12. 会計報告

第2回企画委員会

開催日：6月18日。出席者：吉田委員長ほか13名

1. 欧文誌合同について

金属関係学協会と欧文誌の合同について検討中である
との報告がなされた。企画委員会では事務ベースでもう
少し具体化した後検討することになった。

2. 浅田記念事業計画の件

浅田賞，浅田記念文庫，浅田研究奨励金の3事業を柱
に具体化することが承認された。

4. 石原研究奨励金の件

浅田研究奨励金とプールし，1件40万円を標準とし年
間5件程度とする方針が承認された。

5. その他は理事会議題と重複

編集委員会

第3回運営委員会 開催日：6月8日。出席者：松下
委員長，ほか8名。

1. 今後の講演大会の組織のあり方について協議した
結果，共研各部会等との communication を強化しなが
ら，理想的な運営組織に移行させるという結論に達した。

第4回和文会誌分科会 開催日：6月1日。出席者：
松下主査，ほか12名。

1. 論文審査報告

15件の報告があり，掲載可7件，修正依頼8件。

2. 査読基準について

小委員会より提出された素案をもとに検討し，次回ま

では各委員の意見を求めることになった。

3. 論文勧誘について

第81回講演大会より68件の論文を勧誘することになった。

第2回出版分科会 開催日：6月16日。出席者：佐藤主査，ほか11名。

「鉄鋼製造法」に関する件

原稿通読作業にあつての作業事項ならびに作業方法について協議検討した。

第4回欧文会誌分科会 開催日：6月23日。出席者：橋口隆吉，主査，ほか14名。

1. 11件の論文について審査報告がなされた。

2. 委員よりの推薦と「鉄と鋼」57年7号から5件の論文について投稿を勧誘することとなった。

第3回講演大会分科会 開催日：6月25日。出席者：堀川主査，ほか19名。

1. 47年度秋季大会討論会テーマの選定を行なった。

2. 第82回(秋季)大会特別講演テーマならびに講師の選定を行なった。

3. 純鉄部会報告講演会開催について

今後のことも考え、内規をつくることになった。

4. 講演概要集について

小委員会の検討結果として1～2枚のオフセット印刷無料配布の線が打ちだされた。

5. その他

申込み講演件数について

金属学会との共催討論会について

(5) 鹿島製鉄所厚板ミル概要

2. 工場見学

(株)神戸製鋼所加古川製鉄所厚板工場の見学を行なった。

第14回ホットストリップ分科会

開催日：5月27, 28日。出席者：高畑主査，ほか61名。

共通議題である操業成績調査表，レイアウト，設備の見直し，スラブ管理システムについての発表と自由議題であるロール整備に関する研究・調査報告が行なわれ活発な討議が行なわれた。

第2日午前

新日本製鉄(株)君津製鉄所の概要を鈴木熱延技術課長から，冷延工場について今井工場長から説明を受けた後所内全般にわたる見学と熱延工場の見学を行なった。

第13回コールドストリップ分科会

開催日：6月10, 11日。出席者：松田主査代理，ほか80名。

第1日

共通議題である焼鈍から精整梱包設備に関する要員調査と省力化の実施について討議を行なった。

第2日午前

冷間圧延機関係の生産能力向上，品質技術および省力化のための設備改造などに関する自由議題の討議を行なった。

第2日午後

新日本製鉄(株)広畑製鉄所松井冷延工場長から広畑製所と冷延工場の概要について説明を受けた後，所内全般の見学と酸洗から調質圧延までの工程の見学を行なった。

共同研究会

鋼板会部

第32回分塊分科会 開催日：6月3, 4日。出席者：石川主査，ほか86名。

鉄鋼会館で開催され，条用主体グループと板用主体グループに分かれグループ別討論を行なった。

1. 研究テーマ

(1) 操業調査表(昭和46年1月～3月)

(2) 作業時間調査表(同上)

(3) 稼働率向上対策

(4) 分塊工場における計算機利用についてシステムの概要，システム機能および情報系統図，システム計算機の仕様，他システムとのつながり，など

2. 工場見学

三菱製鋼(株)東京製鋼所

第31回厚板分科会 開催日：5月27, 28日。出席者：有村主査，ほか84名。

(株)神戸製鋼所中央体育館で開催され，2会場で行なわれたグループ別討論は活発であった。

1. 研究テーマ

(1) 工場操業報告(昭和46年1月～3月および4月速報)

(2) 圧延設備と操業

(3) 厚板の検査に関するアンケート結果

(4) 厚板検査技術の改善と省力化

条鋼部会

第30回中小形分科会 開催日：5月27, 28日。出席者：水内主査，ほか100名。

大田産業会館で開催され，第1日目は2会場に分かれ発表・討議を進め，第2日目の午前中にまとめを行なった。

議題は下記の通りである。

1. 工場操業状況調査報告

2. 加熱炉の現状と問題点および対策

3. 公害に対する問題点と改善および今後の対策

4. 自由研究(各事業所1テーマ)

資料は pre-print 事前配布方式を採用し，発表内容の事前検討を行ない討議内容を深めた。最後に大谷重工業(株)東京工場の見学を行なった。

次回分科会は，日本砂鉄・東伸製鋼の共催で行なう。

第32回線材分科会 開催日：6月3, 4日。出席者：富岡主査，ほか61名。

(株)神戸製鋼所健保会館で開催され，発表内容は下記のごとくである。

1. 工場操業状況報告(昭和45年12月～46年2月)

2. 線材の冷却方法について

冷却設備配置，冷却設備概略，仕上温度・巻取温度および管理方法，冷却方法および設備についての問題点と対策 etc.

3. 作業員の配置および労務管理

要員配置図、作業人員構成および作業内容、勤務形態
欠員補充方法などについて

4. 自由テーマ

能率向上および品質向上

その他、資料の公開・非公開、公害の取り組み方など
について討議したが結論は持ち越した。

工場見学は、(株)神戸製鋼所神戸製鉄所第4, 5, 7
線材工場

.....
第28回鉄鋼分析部会 開催日: 5月28日. 出席者: 池
野部会長, ほか21名.

1. 各分科会の活動報告
2. 各事業所「分析設置・組織概要」について報告
3. 幹事会報告

第18回発光分光分析分科会 開催日: 5月28日. 出席
者: 杉山主査, ほか42名.

1. JIS 共同実験投稿原稿の検討
2. 装置の保守に関するアンケートについて
3. 微量成分の分析に関するアンケートについて
4. 共存元素の影響調査実験について
5. 自発研究の発表

第19回蛍光X線分析分科会 開催日: 5月27日. 出席
者: 川村主査, ほか39名.

1. 粉体試料の蛍光X線分析について
2. JIS の作成について
3. 自発研究の発表

第15回化学分析分科会 開催日: 5月27日. 出席者:
新見主査, ほか47名.

1. 鉄鋼中のS定量方法(重量法・燃焼法)およびCr,
Cu, V, Ti, Mo, Nb, N などの定量方法の審議

2. 鉄鋼の原子吸光分析方法の審議

第25回鋼中非金属介在物分析分科会

開催日: 5月28日. 出席者: 成田主査, ほか24名.

1. 鋼中炭化物の抽出定量法に関する研究
第1回共同実験結果の報告
2. 今後の進め方
3. 自発研究の報告

.....
第48回計測部会 開催日: 6月22, 23日. 出席者: 久
田部会長, ほか91名.

昭和45年度計測部会小委員会および昭和46年度計測部
会小委員会中間報告をはじめ、製鉄から圧延にいたる工
程についての計測および製品検査の計測等 29 編の報告
に対して活発な討議が行なわれた。

第2日目午後新日本製鉄(株)名古屋製鉄所中西電気計
装課課長から製鉄所の概要について説明を受けた後工場
見学を行なった。

.....
第24回調査部会 開催日: 6月8, 9日. 出席者: 石
渡部会長, ほか46名.

川崎製鉄(株)水島製鉄所で開催され、運輸関係のテ
マについて活発な討議が行なわれた。

1. 議題

- (1) 定期交換資料報告

(2) 自由議題

- (a) 鉄鋼主原料あげ荷作業における船内荷役へ
の無線ブルドーザの活用
- (b) 大径鋼管専用吊り金具の研究
- (c) 大形鋼製品倉庫におけるリフマグ使用
- (d) コールドコイルの貨車輸送について
- (e) 無帳表による運賃支払システム
- (f) スクラップ作業におけるトラック・クレー
ンの2ドラム作業とダブルフックの使用につ
いて

(3) 特別議題

- (a) 鉄鋼輸出船問題の検討
2. 工場見学
港湾を主体に、水島製鉄所を見学。

標準化委員会

第18回 ISO 鉄鋼部会 SC4 分科会 開催日: 6月10日.
出席者: 清水主査, ほか10名.

1. 第13回国際会議日本代表团について

日本代表团 清水主査(神鋼)

小柳委員(山特)

吉武委員(日冷)

他に通訳として2名参加

2. 国際会議の準備について

パルプ鋼, 析出硬化ステンレス鋼, 耐熱鋼, 耐ク
リープ鋼, 軸受鋼, 工具鋼, 冷圧用鋼, R-683の改訂
チェーンフック用鋼について入手, 各国のコメント
の検討および日本コメントの作成を行なった。

.....
第43回特殊鋼分科会 開催日: 6月1, 2日: 出席者:
中野部会長, ほか107名.

1. 特別講演(学振19委員会依頼講演)

合金の凝固組織と偏析について

大阪大学 産業科学研究所 岡本平教授

2. 共通議題

特殊鋼の品質と製造技術に関する研究

3. 工場見学

新日鉄, 室蘭, 日本製鋼, 室蘭

.....
鋼質判定試験方法分科会 開催日: 6月22日. 出席
者: 村治幹事, ほか15名.

1. 鋼質判定試験方法に関するアンケートまとめ報告
マクロ組織試験方法のアンケートのまとめの報告が
あつたのみ, 今後どのようにまとめるか討議した。

2. 鋼の非金属介在物の試験方法について

Ti, Nb 炭化物, 窒化物の判定と分類について, 現
在各社が処置している方法と将来の方向について討
議した。

.....
第4回材料研究準備委員会 開催日: 6月10日. 出席
者: 大竹委員長, ほか22名.

日本鋼管技術研究所で開催され、午前中は研究所見学
午後は研究発表・討議を行なった。研究発表は、統一テ

ーマである「焼戻し脆性」について3件の論文が発表された。

1. 恒温焼入れした低炭素鋼の低温焼戻しにおける脆性 (大同製鋼 中研)
2. 圧力容器用鋼材の長時間加熱による材質変化 (日本製鋼 室蘭研)
3. 大型タービンロータ軸用 Ni-Cr-Mo-V 鋼の焼戻し脆性について (三菱製鋼 長崎研)

これら焼戻し脆性のまとめは、11月中旬の第6回委員会で発表される。

なお、この委員会は現在1年間の試行期間中であるが同委員会で今後の方針を討議することとした。

第3回連続製鋼研究委員会合同会議

開催日：6月8日。出席者：石原委員長，ほか16名。

1. 製鋼小委員会報告
小委員長より、現在までの小委員会の活動状況が説明された。
2. 連続製鋼研究中間報告
金材技研より、現在までの研究経過概要、最近の実験結果、今後の研究計画、特許の現状について報告された。
3. 今後の方針
今後の研究計画について、種々討議した。

鉄鋼基礎共同研究会

遅れ破壊部会 開催日：6月11日。出席者：藤田部会長，ほか17名。

以下3点の研究発表がなされたあと、昭和46年度試験

研究計画書と同特別研究費支払計画書の説明，確認が行なわれた。

研究発表

1. 「遅れ破壊に関する2, 3の実験結果」
阪大工
2. 「遅れ破壊の実例と鋼中水素の挙動について」
日鋼(室蘭)研究所
3. 「純鉄単結晶中の水素の挙動について」
川鉄技研

第15回強度と靱性部会 開催日：6月9日。出席者：荒木部会長，ほか，10名。

1. シンポジウムの討論について
当日開催されたシンポジウムの質問書が各講師に配布されているので，回答を整理して今後の部会活動の参考とすることとした。
2. 46年度特別研究費の使途について
クラックを発生させる装置の試作について打合わせた。

評議員逝去のお知らせ

本会評議員赤坂武君(日本鋼管社長)は胃がんのため6月6日逝去せられました。ここに同君の冥福を祈り，つつしんで哀悼の意を表します。

本会評議員米田健三君(久保田鉄工社長)は胃がんのため6月20日逝去せられました。ここに同君の冥福を祈り，つつしんで哀悼の意を表します。

日本工学会 第30回見学会のお知らせ

日本工学会主催で、下記により見学会を催しますので奮つてご参加下さい。

記

日 時 9月22日(水) 14:00~16:30

見学先 東京都立工業技術センター(北区稲付井頭)

このセンターは東京都の各種工業施設を統合して昨年新設された試験研究機関で技術指導も行ない次の10部に分れています…機械，機械加工，金属，光音，電子，電気機器，計測制御，有機化学，無機化学，工芸

順 路 国電十条または王子駅から赤羽西口行か志村高校行バスに乗り西ヶ岡1丁目下車(玄関前です)。

定 員 60名とし定員先着順に参加証をお届けします。

集 合 当日 13:50 同センター玄関前集合のこと。

申込期限 9月12日 はがきに第30回見学会申込と書き住所，氏名，所属学会，勤務先を記入し日本工学会(東京都港区芝罘平町35 日本造船学会内)

電話(502)2049 あて申込むこと。